

障害者就労施設で 太陽光発電スタート

宇治

障害者の就労の場「イサク事業所どうほうの家」(宇治市伊勢田町)の屋上に、太陽光発電設備「おひさま発電所」が完成したのを記念して20日、点灯式があった。

おひさま発電所は、地球温暖化防止と自然エネルギーの普及を目的に、NPO法人「き



太陽光発電設備の点灯式で記念撮影する参加者
—宇治市のイサク事業所どうほうの家で

ょうとグリーンファン ド(京都市下京区)が協力して、府内の保育園などに設置を進めてきた。イサク事業所が18カ所目で、宇治市内での設置は初めて。

費用は市民の寄付やNPOの基金でまかなう。

NPOの阿部孝り副理事長は点灯式で、「今回の事業を、障害のある方々と一緒にできたことが感慨深い」と語った。

イサク事業所では障害者が社会の一員として、農業や化学肥料を使わずに育てた野菜、総菜の販売をしている。

【山田英之】